

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校  
校長 寺脇 久人

## 24年度 学校教育自己診断結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。  
さて、昨年10月にご協力いただきました、学校教育自己診断について報告させていただきます。  
なお、記述回答につきましては、複数寄せられた意見を中心に回答させていただきました。

★報告の内容は下の4項目です。



① 提出率
② 集計結果・分析 ※集計詳細
③ 記述回答
④ まとめ

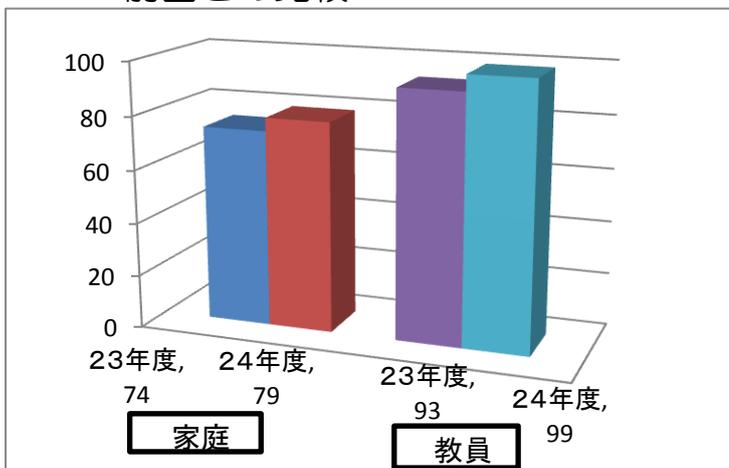
★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

- \* 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答があったものを■肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉えました。
- \* 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしました。

### ①提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
家 庭	213/269人	79%	323/380人	85%
教 員	110/111人	99%		

\*前回との比較



### 【分 析】

- 家庭は前回と比較して5%近く上がりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。次年度もより効果的な回収方法を工夫しながら、保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。
- 教員についても、前回を上回る提出がありました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら、主体的な参画を図りたいと思います。

## ②集計結果・分析

■肯定意見90%以上 △肯定意見5%以上のアップ  
▼肯定意見5%以上のダウン

### 【 家庭 】

		23年度 %		24年度 %		比較	
		肯定	否定	肯定	否定		
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	86	9	■91	9	△
	2	授業を楽しみにしている。	78	13	82	11	
	3	友だちや先生と仲良くすごしている。	■94	2	■93	3	
	4	給食を楽しみにしている。	88	6	■91	7	
	5	学校行事（運動会・遠足・宿泊学習など）を楽しみにしている。	87	8	89	7	
教育活動	6	『個別の教育支援計画』にもとづいた適切な支援を行っている。	87	8	88	5	
	7	『個別の指導計画』にもとづいた適切な指導・支援を行っている。	87	8	88	5	
	8	子どもの発達段階や課題に合った授業を行っている。	80	15	87	9	△
	9	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	83	11	85	8	
	10	『学校生活の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■91	6	■93	4	
	11	検診や測定、食育活動などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■95	1	■94	3	
	12	避難訓練や交通安全教室などを通じて、適切な安全教育を行っている。	■90	3	■94	1	
	13	他校や施設との交流教育（居住地校交流含む）を積極的に行っている。	67	20	69	18	
	14	子どもの人権やプライバシーは十分に配慮されている。	85	4	86	4	
	15	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道德教育を行っている。	84	4	86	6	
家庭との連携	16	係活動や当番活動を通じて、将来の自立に向けたキャリア教育を行っている。	77	10	78	9	
	17	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信を通じて知ることができる。	■95	4	■96	4	
	18	進路に関する情報（進路だより）や保護者説明会など適切に提供している。	■93	4	■94	4	
	19	健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	■97	2	■97	2	
	20	子どもについての保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	■90	5	85	10	▼
その他	21	PTAはプールやバザーなど、活動を積極的に行っている。	88	4	■93	3	△
	22	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	■96	2	■93	4	
	23	校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	62	31	69	26	△
	24	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	59	31	69	24	△

- 24項目中21項目において肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 13番の項目の『他校や施設との交流教育（居住地校交流含む）を積極的に行っている。』は、2年連続して基準に達しておらず、今後取り組みの改善や工夫が必要であると考えています。
- 20番の『子どもについての保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。』は、基準には達したものの、昨年度よりも5ポイント下がっており検証が必要と考えています。
- 昨年、否定的な意見が3割を超えていた、23番の『校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。』と24番の『施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。』の2項目で改善が見られました。PTAの清掃への取り組みが成果を上げたものと考えられます。

## 【 教員 】

		23年度 %		24年度 %		比較	
		肯定	否定	肯定	否定		
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	■99	0	■98	1	
	2	授業を楽しみにしている。	89	6	■97	2	△
	3	友だちや先生と仲良く過ごしている。	■97	1	■100	0	
	4	給食を楽しみにしている。	■98	0	■98	3	
	5	学校行事(校内・校外)を楽しみにしている。	■92	5	■93	6	
教育活動	6	『個別の教育支援計画』にもとづいた、適切な支援を行っている。	83	12	■90	9	△
	7	『個別の指導計画』にもとづいた、適切な指導・支援を行っている。	84	12	88	11	
	8	発達段階や課題に合った授業を行っている。	88	8	■93	5	△
	9	『学校生活の記録』を通じて、学習状況や成果など適切に評価している。	■92	4	■96	3	
	10	学習や指導における教材や教具は、工夫・配慮している。	■90	8	■97	4	△
	11	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■96	3	■98	2	
	12	検診や測定・食育活動などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■93	5	■99	1	△
	13	給食は子どもの実態に合ったように作られている。	89	8	■98	2	△
	14	避難訓練や交通安全教室を通じて、適切な安全教育を行っている。	■97	1	■97	3	
	15	他校・施設との交流、居住地校交流を積極的に行っている。	63	29	64	32	
	16	子どもの人権やプライバシーには、十分配慮している。	80	18	86	12	△
	17	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	■90	8	■90	8	
	18	係活動や当番活動を通じて、将来の自立に向けたキャリア教育を行っている。	81	14	85	11	
家庭との連携	19	連絡帳や電話を通じて、家庭との連携をきめ細かく行っている。	■98	1	■99	1	
	20	保健だより・食育だよりなど、健康に必要な情報を適切に提供している。	■100	0	■97	3	
	21	保護者の悩みや相談に対して、適切に対応している。	■91	5	■93	5	
	22	積極的にPTA活動を行っている。	78	13	77	16	

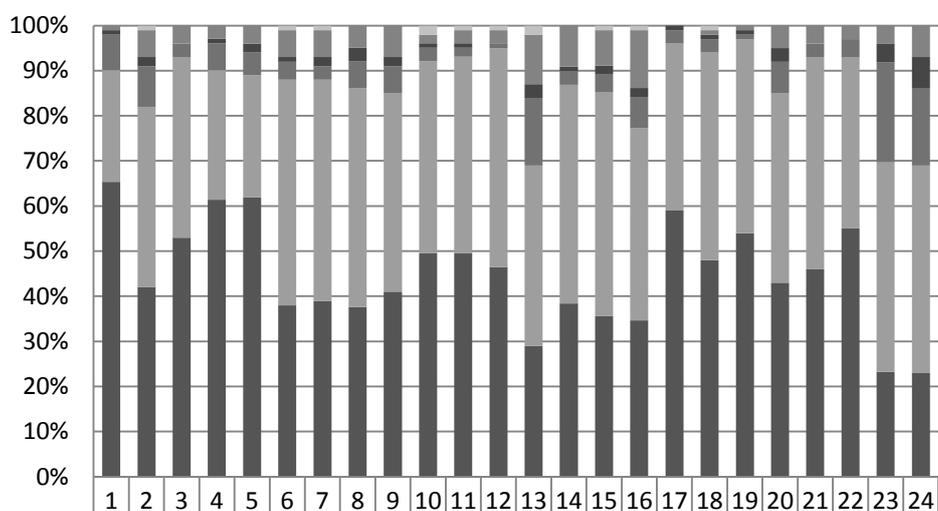
- 22項目中21項目において肯定的意見が7割を超え、達成基準に達しました。
- 昨年度からの課題であった15番の『他校・施設との交流、居住地校交流を積極的に行っている。』は否定的意見が3割を超えました。居住地校との個人交流・近隣の小中学校との交流ともに昨年並みであったことから、停滞感があったものと考えられます。

### 【家庭と教員を比較して】

- ★ 「教育活動」に関する項目では、交流教育を除くすべての項目で達成基準【7割】を大きく上回る評価となり、家庭と学校間の共通認識や連携は円滑に図られているものと考えられます。
- ★ 家庭・教員とも『交流教育』に対する評価が低くなっています。実施方法や取り組み内容に改善の余地があるものと考えられます。また、活動の報告が不十分であったことから、情報の共有化ができていなかったことも要因として考えられます。
- ★ 『保護者の悩みに学校が適切に対応しているか』という問いに対して、家庭と教員の評価に若干とらえ方に相違が見られました。今後検証が必要であると考えられます。

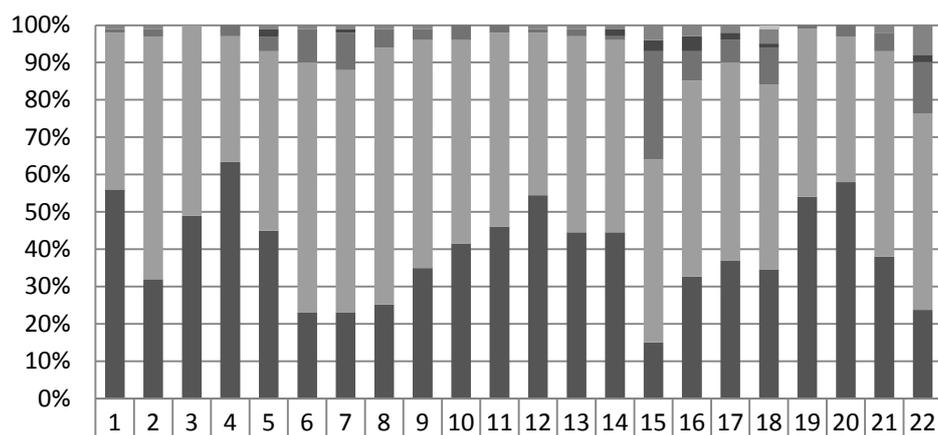
## 【集計結果詳細】

### 【家庭】



■ 未回答		1			0	1	1	0	0	2	1	1	2	0	1	1	0	1		0				
■ わからない	1	6	4	3	4	6	6	5	7	2	3	3	11	9	8	13		1	1	5	4	3	4	7
■ 思わない	1	2	0	1	2	1	2	3	2	1	1	0	3	1	2	2	1	1	1	3			4	7
■ あまり思わない	8	9	3	6	5	4	3	6	6	3	2	1	15	3	4	7	3	3	1	7	3	4	22	17
■ だいたいそう思う	25	40	40	29	27	50	49	49	44	43	44	48	40	48	50	43	37	46	43	42	47	38	46	46
■ そう思う	66	42	53	62	62	38	39	38	41	50	50	46	29	38	36	35	59	48	54	43	46	55	23	23

### 【教員】



■ 未回答																			1				
■ わからない	1	1			1	1	1	1	1				1	1	1	4	3	2	4			2	8
■ 思わない					2		1								2	3	4	2	1				2
■ あまり思わない	1	2		3	4	9	10	5	3	4	2	1	2	1	29	8	6	10	1	3	5	14	
■ だいたいそう思う	42	65	51	34	48	67	65	68	61	55	52	44	53	52	49	53	53	50	45	39	55	53	
■ そう思う	56	32	49	64	45	23	23	25	35	42	46	55	45	45	15	33	37	35	54	58	38	24	

### ③記述回答【たくさんのご意見をいただきました。要約しますと以下の通りです。】

#### 1 施設設備に関して

○清掃をきっちり行い、施設設備を改善して欲しい。（特にトイレについての強い要望あり）  
来年度は作業棟、再来年度は小学部棟の耐震・大規模改修工事が行われる予定で、トイレの問題等は一定の改善が見込まれます。また、教員による清掃等も継続していきたいと思えます。

#### 2 学校行事に関して

○授業参観の回数を増やして欲しい。また午後の時間帯も設定して欲しい。

回数につきましては、現在の参加率や校区の広さから考え一斉に設定するのはこれ以上は困難かと思えます。また午後の時間帯も、下校バスの時間帯の関係で難しいかと思えます。なお、授業参観日以外でも適宜個別に参観を受け付けておりますので、担任の先生を通じて申し込んでいただきますようお願いいたします。

○学校行事に自動車で来られるよう、駐車場を確保して欲しい。

現在可能かどうか検討中です。

○運動会の実施時期を検討して欲しい。（6月開催など春の実施も含めて）

5市の小中学校との重なりを避けるため、隔年での土日開催を実施しています。すべての小中学校との重なりを避けるのは困難ですのでご理解ください。また、6月開催につきましては、高等部との調整が必要となり現段階では困難ですが、将来的には検討の必要があると思えます。

○中学部の修学旅行の行き先をディズニーランドにして欲しい。

予算等諸般の事情により東京方面の修学旅行は実施できません。現在の中学部2年生より愛知方面で計画しております。ディズニーランドに負けない素晴らしい修学旅行になるよう係で内容を検討しております。

#### 3 教育活動に関して

○夏季休業中の登校日を増やしたり、放課後のクラブ活動を実施するなど、正規の授業以外の充実を図って欲しい。

夏季休業中は教員の研修や出張等が多数予定されており、日数の増加は難しい状況です。また放課後のクラブ活動は基本的に全生徒がスクールバスでの登下校を行っているため、実施することは困難です。

○不適切な指導（言葉遣いや態度等）をする教員がいるので改善して欲しい。

校内研修の充実を図り、不適切な指導の無いよう研鑽していきたいと思えます。

○教科書を一人一人に合ったものにして欲しい。

課題別に1つの教科ごとに1～4種類の教科書を選定しています。今後も可能な限り児童・生徒の実態に合ったものを選定していきたいと思えます。ご理解ください。

#### 4 通学バスに関して

○時間を短縮して欲しい。バス停を増やして欲しい。

可能な限り保護者の意向に沿えるよう努力いたしますが、道路事情・校区の広さ・バスの台数・時間的な制約等により、すべての希望をかなえられないことがあります。ご理解ください。

#### 5 その他

○東校や東校が無くなった後の情報を教えて欲しい。

平成27年度より東校と本校が統合され、羽曳野市に新しい支援学校が設置される予定です。新しい支援学校の通学区域は今年の6月末頃に発表される予定と聞いております。今後新しい情報に関しては、入り次第適宜お知らせしたいと思います。

○給食の量が少ないので増やして欲しい。（補食を準備して欲しい）

摂取量につきましては、個人差があり少ないと感じる児童・生徒もいるかと思えます。栄養教諭の管理の下適切な量で作っていますのでご理解ください。

## ④まとめ【学校協議会の提言等】

I 共通項目の達成度を総合的に見た場合、全体の90%近くの項目が達成基準に達しており今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると思えます。引き続き、子ども達一人ひとりの自立や社会参加に向けて、保護者・地域・外部専門機関等とさらに連携を図りながら「安全・安心で信頼される学校づくり」をめざして全教職員で取り組みたいと思えます。

II 残念ながらその評価が基準に達しなかった「交流教育」と「施設・整備」については、改善に向けた検討や予算的な要望を上げて行きます。

★交流教育は、今年度「居住地校交流」の推進として、市教委・受け入れ校・保護者のみなさまのご協力やご支援によって実現してきました。次年度に向けては、この結果を踏まえ、関係者評価（保護者・担任・受け入れ校など）を行いながら繋げていくとともに取り組み内容を報告するなど情報の共有化にも努めていきたいと思えます。

★施設・設備の改善では、毎回多くの意見・要望が出されています。今年度は基準に達しなかったものの、数字的には一定の改善が見られました。体育館の耐震改修工事が行われたことや、PTAの美化活動・職員清掃等の地道な取り組みが評価されたものと考えられます。

★体育館の耐震改修工事以外で行われた主な修繕としては、①給食室の配膳棚入れ替え ②集会室・作業棟の雨漏り補修 ③教室・廊下の窓ガラス修繕 ④教室のカーテンレールの修繕 ⑤プールフェンス塗装 ⑥煙感知器補修等です。また、その他の整備・改善としては ①プレハブ棟グラウンド面時計設置 ②ガラス飛散防止フィルム貼 ③エアレックスマット購入（小学部HR教室に設置） ④トイレの尿石除去清掃実施等があげられます。子どもたちや保護者にとって、「安全で安心できる学校環境や教育環境の整備」に努めていきたいと思えます。



プールのフェンスがきれいになりました



給食室の配膳棚がとっても使いやすくなりました

### 【学校協議会からの提言】

★家庭・教員とも提出率が高く、また概ね9割の項目で基準に達したことは大いに評価できる。

★家庭・教員とも回答が概ね一致しており、意思疎通が図られていると感じる。

★提出されなかった2割の保護者の声をどのように拾い上げていくか、検討して欲しい。

★質問項目の変更なども検討してみてもどうか。

★支援教育における研修の重要性が指摘された。